

令和 8 年熊本地震の被災地支援に係る職員派遣出発式
知事ぶら下がり取材について

日時 R8.7.31（金）
10：40～10：43
場所 本館前

（南海放送（幹事社））

それではぶら下がり取材を始めます。まず幹事社から 3 問質問をさせていただきます。
甚大な被害が発生している熊本地震に対する知事の受け止めをお願いします。

（知事）

まず、熊本県には、本当に亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されたすべての皆さんにお見舞いを申し上げさせていたきたいと思います。今から 8 年前の西日本豪雨災害のときに熊本からは延べ人数で 1,800 名を超える方々にご支援、人的な支援をいただきました。そのご恩は決して忘れられるものではありませんし、今、熊本で大きな被害が出た以上は、そのときのご恩返しというそんな意味も込めて、しっかりと対応をしていきたいというふうに思っています。

（南海放送（幹事社））

次に、被災地支援に対する思いをお願いします。

（知事）

被災地の支援はわれわれも経験しましたがけれども、皆、何かしたい、すぐに行こうという気持ちは共通して持つと思うんですが、闇雲にそれを行うと、かえって現地は混乱をしてしまいます。特に、まずは近隣の自治体が速やかに動ける体制を作ると思っていますので、われわれとしては、この分野の要請を来たときに速やかに動けるような準備はしてきました。今日はまずその第一弾ということで、昨日、総務省の方から先に 2 カ所の避難所運営を担ってもらいたいという具体的な要請も来ましたので、能登震災で必要性を感じて導入した大型トイレカーの初めての県外派遣も含めて、速やかに対応することといたしております。とりあえず今日はそちらの方には 2 名ですけれども、順次増員をして、8 名体制で速やかに運営を行っていきたいと思います。それから、県民の皆さんにもいろいろなお気持ちがあると思いますので、的確な情報をキャッチして、しっかりとしたタイミングで呼び掛けをしていきたいと思います。募金あるいは物資の提供、そしてボランティアへの参加、そうしたことをしたいという方々の思いに応えられるような対応を県として責任を持って取っていきたいと思っています。

（南海放送（幹事社））

最後に、県民に対するメッセージ、呼び掛けがあればお願いします。

(知事)

そうですね、熊本は西日本豪雨災害で本当に大きな力になってくれたことを、改めて県民の皆さんにお伝えしたいと思います。それを代表して県や各自治体で精いっぱいの応援体制を組んでまいりますけれども、非常に被害の規模が大きいことが分かってきました。そういう意味では、当面の人命救助、それから避難所の運営、そしてまた復興に向けた事業展開、いろいろな局面が予想されます。自治体としては懸命に体制を作っていきますけれども、それ以上に、また県民の皆さんにもお気持ちが必要な場合も出てくると思いますので、先ほど申し上げたように、的確な情報をキャッチしながら情報発信をしていきたいと思いますので、ぜひぜひご協力をお願い申し上げたいと思います。

(南海放送(幹事社))

その他質問はないでしょうか。以上でぶら下がりを終わります。どうもありがとうございました。